

課題番号	LZ006
------	-------

**先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)  
実施状況報告書(平成 23 年度)**

本様式の内容は一般に公表されます

研究課題名	クローバル化による生殖技術の市場化と生殖ツーリズム:倫理的・法的・社会的問題
研究機関・ 部局・職名	金沢大学 医学系 環境生態医学・公衆衛生学 助教
氏名	日比野 由利

1. 当該年度の研究目的

生殖ツーリズムにおける「利用する側」と「利用される側」の実態解明を目的とする。「利用される側」の実態調査として、インド、タイ、マレーシア、韓国など、日本人による渡航治療が見られる地域で医療事情や法律の実態調査を行う。現地の政府関係者、医師、法律家、当事者(卵子ドナー・代理母)に聞き取り調査を実施する。ガイドラインや法律・法案の訳出を行い、ホームページに随時掲載する。医療・倫理・法律の面で、どのような問題やリスクが存在するかを明らかにする。また、今後日本人による生殖ツーリズムの対象となりそうな国々についても、インターネットや文献により情報を取得する。「利用する側」の実態調査として、国内の不妊患者の意識や動向を、インタビューやアンケートにより明らかにする。これらの調査結果をもとに、卵子提供や代理出産などの国内実施の可否を含む生殖補助医療の法規制の方向性や不妊患者への支援方法について考察する。

欧米における生殖ツーリズムに関する議論や政策対応を文献調査する。米国生殖医学会(American Society for Reproductive Medicine;ASRM)、ヨーロッパ生殖医学会(European Society of Human Reproduction and Embryology;ESHRE)などの調査結果やガイドラインの訳出、ホームページでの紹介を行う。

2. 研究の実施状況

渡航治療に関する国内の実態調査を行った。①不妊当事者に対する調査; babycomのウェブサイト(「妊娠・出産・育児コミュニティ」<http://com.babycom.ne.jp/>)とベビカムのウェブサイト(「赤ちゃんを産み育てるお母さんとお父さんと、ふたりを応援する専門家のwebコミュニティー:妊娠・出産・育児ベビーコム」<http://www.babycom.gr.jp/>)にてwebアンケートを実施した。②医師への調査; 全国の特定不妊治療費助成施設に対し治療部門の長として不妊治療を担当する医師宛てに、郵送自記式、無記名にて調査を実施した。③不妊患者への調査; 調査協力への許諾が得られた全国の特定不妊治療費助成施設の65機関を通して7,309票を配布し2,007票を回収した。②及び③の調査については、集計結果を掲載した報告書を作成し、関係機関に郵送した。①～③の調査について、集計結果の一部を、ホームページで公開した。

渡航治療に関する海外の実態調査を行った。①タイ、②マレーシア、③インドにおいて、医師や代理出産者、仲介業者、依頼者などにインタビューを実施した。アジア諸国の生殖補助医療に関連する新聞報道や法律・ガイドラインなどの資料について検索し、研究会のブログに訳出・要約し、紹介した。

様式19 別紙1

第9回～13回生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会・公開講演会を実施した。第9回は5月28日に金沢大学の東京事務所で行われ8人が報告を行った。第10回は7月9日に金沢大学で行われ3名が報告を行った。第11回は9月25日に金沢大学で公開研究会として行われ、櫛島次郎氏が「着床前診断と生殖補助医療、とくにフランス生命倫理法 2011年改正からみた議論の動向」と題して報告を行った。第12回は12月17日に金沢大学で行われ、3名が報告を行った。第13回は、3月20日に金沢で公開講演会として行われ、甲斐克則氏が「人工妊娠中絶と生殖医療」と題して報告を行った。これらの研究会での報告内容や議論の一部をホームページで公開した。

3. 研究発表等

<p>雑誌論文</p> <p>計5件</p>	<p>日比野由利 「インドの商業的代理出産と法規制」『産科と婦人科』 診断と治療社 2011 78(4) : 497-503.</p> <p>日比野由利 「アジアの生殖医療サービス—インドの商業的代理出産」 女たちの21世紀 2011 No.66 : 10-13.</p> <p>日比野由利 「タイへのメディカル・ツーリズムと生殖産業」『産科と婦人科』 診断と治療社 2012 79(1): 94-101</p> <p>白井千晶・日比野由利 「卵子提供および海外渡航治療に対する医師の意識調査からみえること」 2012 臨牀婦人科産科 日本醫學雑誌 66(2) : 186-192.</p> <p>日比野由利・島藺洋介・神林康弘・人見嘉哲・荻野景規・中村裕之 「卵子提供に対する医師・不妊当事者の意識と実態」 2012 日本予防医学会雑誌(accept)</p> <p>(掲載済み—査読有り) 計4件</p> <p>(掲載済み—査読無し) 計0件</p> <p>(未掲載) 計1件</p>
<p>会議発表</p> <p>計8件</p>	<p>専門家向け 計7件</p> <p>日比野由利 「タイの医療ツーリズムと不妊産業」 東京 2011年5月28日 金沢大学東京事務所 第9回生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会)</p> <p>日比野由利 「不妊の入口と出口の統御」東京 2011年9月4日 金沢大学東京事務所、第11回生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会)</p> <p>日比野由利「女性は何歳(いつ)まで産むのか—卵子提供の話題から」 金沢 2011年12月7日 金沢大学医学類 第13回生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会)</p> <p>日比野由利「東南アジアの生殖補助医療」東京 2011年10月15日・16日 日本生命倫理学会</p> <p>日比野由利・島藺洋介 「生殖ツーリズムにおける“利用する側”と“利用される側”」 東京 2011年10月15日・16日 日本生命倫理学会 公募シンポジウムオーガナイザー</p> <p>日比野由利・今井竜也・島藺洋介・神林康弘・人見嘉哲・柴田亜樹・大滝直人・林宏一・中村裕之 「渡航生殖に関する医師・患者の意識調査」 東京 2011年12月11日・12日 日本予防医学会</p> <p>日比野由利・荻野景規・島藺洋介・神林康弘・人見嘉哲・柴田亜樹・中村裕之 「第三者生殖技術の利用と渡航生殖に関わる不妊患者の意識と実態」 京都 2012年3月24日</p>

様式19 別紙1

	<p>～26日 日本衛生学会</p> <p>一般向け 計1件 日比野由利 「卵子提供の話題から」 金沢大学まちなかサイエンスセミナー 金沢 2011年12月23日 金沢大学</p>
<p>図書 計1件</p>	<p>日比野由利・柳原良江 編著 『テクノロジーとヘルスケアー女性身体へのポリティクス』 生活書院 2011年 208ページ ISBN-10: 4903690776 ISBN-13: 978-4903690773</p>
<p>産業財産権 出願・取得状況 計0件</p>	<p>(取得済み) 計0件 (出願中) 計0件</p>
<p>Webページ (URL)</p>	<p>グローバル化による生殖技術の市場化と生殖ツーリズム:倫理的・法的・社会的問題 <a href="http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/">http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/</a> 生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会[忘備録] <a href="http://azuki0405.exblog.jp/">http://azuki0405.exblog.jp/</a></p>
<p>国民との科学・技術対話の実施状況</p>	
<p>新聞・一般雑誌等掲載 計4件</p>	<p>「生殖補助医療:海外での卵子提供準備、医師半数『対応』」毎日 JP 2011年9月6日 <a href="http://mainichi.jp/life/edu/child/archive/news/2011/09/20110906ddn012040057000c.html">http://mainichi.jp/life/edu/child/archive/news/2011/09/20110906ddn012040057000c.html</a></p> <p>babycom Points of view 特別寄稿「アジアでの不妊治療」2012年1月5日 <a href="http://www.babycom.gr.jp/ranshi/ranshi-t.html">http://www.babycom.gr.jp/ranshi/ranshi-t.html</a></p> <p>朝日新聞 2012年2月29日 32頁 いしかわスクエア 金沢大学探訪 「生殖医療 選択肢拡充を」</p> <p>Medical Tribune 2012年2月29日 vol.45,No.10 「卵子提供に関する医師の意識調査」</p>
<p>その他 計3件</p>	<p>報告書</p> <p>「インドとタイにおける生殖技術と法整備の現状」(生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 報告集 I 日比野由利編著)229ページ</p> <p>「海外渡航治療と第三者が関わる生殖技術に対する不妊治療担当医師の意識調査」白井千晶・日比野由利 2011、4ページ</p>

様式19 別紙1

	「渡航治療に関する不妊患者の意識調査」生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会、日比野由利 2012 、16 ページ
--	--

4. その他特記事項

## 実施状況報告書(平成23年度) 助成金の執行状況

本様式の内容は一般に公表されず

## 1. 助成金の受領状況(累計)

(単位:円)

	①交付決定額	②既受領額 (前年度迄の 累計)	③当該年度受 領額	④(=①-②- ③)未受領額	既返還額(前 年度迄の累 計)
直接経費	57,000,000	20,550,000		36,450,000	
間接経費	17,100,000	6,165,000		10,935,000	
合計	74,100,000	26,715,000	0	47,385,000	0

## 2. 当該年度の収支状況

(単位:円)

	①前年度未執 行額	②当該年度受 領額	③当該年度受 取利息等額 (未収利息を除 く)	④(=①+②+ ③)当該年度 合計収入	⑤当該年度執 行額	⑥(=④-⑤) 当該年度未執 行額	当該年度返還 額
直接経費	20,287,500	0		20,287,500	9,445,820	10,841,680	
間接経費	6,165,000	0		6,165,000	963,616	5,201,384	
合計	26,452,500	0	0	26,452,500	10,409,436	16,043,064	0

## 3. 当該年度の執行額内訳

(単位:円)

	金額	備考
物品費	368,079	研究用消耗品等
旅費	2,045,690	生殖医療実態調査旅費(バンコク)等
謝金・人件費等	4,815,821	研究支援者給与、講演謝金等
その他	2,216,230	研究用資料印刷費、業務委託費等
直接経費計	9,445,820	
間接経費計	963,616	
合計	10,409,436	

## 4. 当該年度の主な購入物品(1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの)

物品名	仕様・型・性能 等	数量	単価 (単位:円)	金額 (単位:円)	納入 年月日	設置研究機関 名
				0		
				0		
				0		